

輝く未来のために

－ 思春期・青年期の子どもとのつきあい方 －



兵庫県立神出学園

(公財) 兵庫県青少年本部管理運営施設

「家庭支援テキスト」発刊に寄せて

ひょうごユースケアネット推進会議
座長 小林 剛

子どもの問題行動は、反社会的問題行動も、非社会的問題行動も圧倒的に思春期段階に多く現れてきます。このことは昔も今も変わりがありません。例えば不登校は思春期ど真ん中の中学生段階でどっと増えています。非行や暴力やその他の問題行動も思春期の中学・高校生段階が発生のピークになっています。また、いじめ問題もこの中学生段階が一番多く発生しています。

こうして見てきますと、この思春期という時期は、まさに激動の時期といってもよいでしょう。ではなぜこうした問題がこの時期に多く発生するのでしょうか。この点について一言ふれておきますと、これまで親に従順であった児童期から、激動の思春期に脱皮する人生の大きな節目の時がこの時期だからです。すなわち、この時期は、心身共に揺れる変革の時だからです。

したがってこの時期は周りの人、とりわけ親の対応の仕方が重要になってきます。自分の世界にこもってみたり、親や周囲に盛んに反抗してみたり、無口になってしまったり、今までとは人が変わってしまったようになります。ここで親は対応に悩むのです。

本テキストは、こうした思春期の子どもに対して、親や大人や支援者、そして教師も含めてどうかかわり、どう対応し、どう付き合っていくのかについて、兵庫県立神出学園の16年におよぶ実践研究の蓄積の中から得られた多くの貴重な知見を集大成し、どなたにも分かりやすいテキストとして編集執筆したものです。

多くの思春期のお子さんをお持ちの親や保護者はもちろんのこと、関心をお持ちの多数の方々に、学びのテキストとして使っていただくことを心から期待したいと思います。

なお本テキストの執筆編集に際して、兵庫県立神出学園の稲垣相談指導課長のお力に負うところが極めて大きかったことを記して、ここに厚くお礼を申し上げます。

～目次～

「家庭支援テキスト」発刊に寄せて

第1章 思春期の特性を学びましょう	・・・ 1
第2章 適切な言動に注目しましょう	・・・ 5
第3章 話を上手に聞く	・・・ 13
第4章 親の意見をどのように伝えるか	・・・ 20
第5章 子どもに任せること、子どもと話し合うこと	・・・ 26
第6章 感情的になるとき（1）	・・・ 34
第7章 感情的になるとき（2）	・・・ 41
第8章 発達障がいについて	・・・ 45
おわりに	



表紙 神出学園 生田淳仁
(表紙CG (C) 焰火 紅)